

ろうさい ニュース

平成 29 年

7 月号

第 395 号

■ 消化器外科の紹介

浜松労災病院 消化器外科部長 寺谷直樹

先生方はじめ関係者の皆様方には、平素より大変お世話になりありがとうございます。当科では、現在、寺谷、井上、隅田、吉田、そして乳腺外科部長兼任の加賀野井の 5 人に有井院長を加えた 6 人で診療を行っております。

外来診療は月曜から金曜まで毎日受け付けており、診療対象は消化器疾患一般で、悪性腫瘍（食道・胃・小腸・大腸・肝・胆・膵など）から鼠径、腹壁ヘルニア・胆石症などの良性疾患、また虫垂炎・消化管穿孔・腹膜炎をはじめとする緊急手術適応疾患までカバーしております。

昨年度から消化器内科常勤医数が 3 人になり、今年度から 4 人に増えました。消化器内科との密な連携から、手術症例数も年々増加傾向にあります。

【表 1】

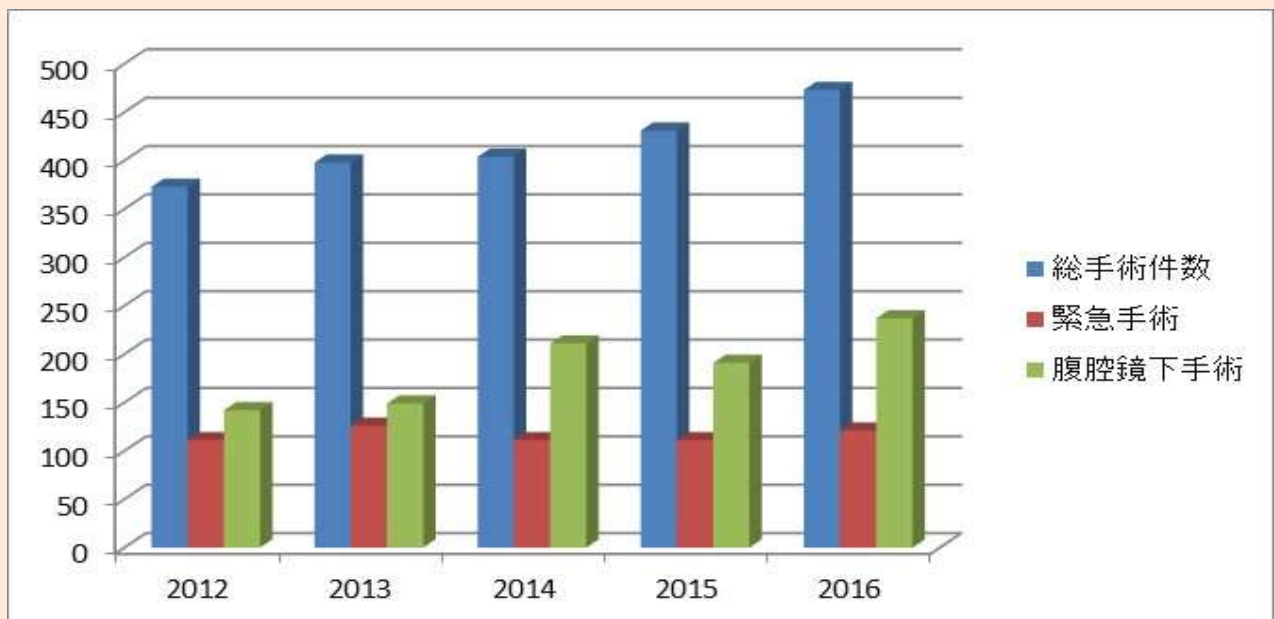


表 1 総手術件数、緊急手術件数、腹腔鏡下手術件数の推移

当科の柱として①365日緊急手術対応可能、②低侵襲腹腔鏡下手術、③高難度肝胆膵手術、があります。

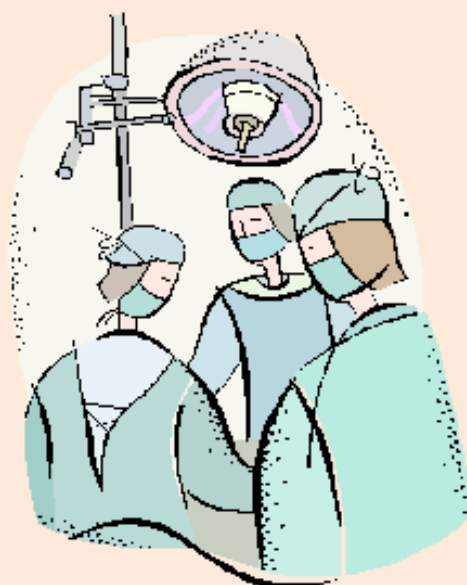
①時間外であっても紹介いただいた患者さんは、迅速に診察・診断し、必要ならば24時間手術を行える体制にあります。内科的処置（総胆管結石・吐下血など）が必要な場合も消化器内科との連携にて速やかに治療しております。②腹腔鏡下手術に関しては以前にも報告いたしましたが、胆嚢摘出術だけでなく、大腸癌・胃がんなどの手術にも適応を広げ、その割合はかなり高いものとなっています。腹腔鏡システムもOLYMPUS社3D内視鏡システムを導入し視認性も向上しております。しかし、悪性腫瘍の手術において根治性が損なわれる可能性が考えられた場合（術中所見など）は、躊躇なく開腹手術に移行しております。また、虫垂炎・急性胆のう炎など緊急手術の大部分を腹腔鏡で行っており、その大部分は単孔式腹腔鏡（穴が1つ）で終了しています【写真1】。



写真1 腹腔鏡下手術（左：3D画像と手術の様子 右：術野）

③高難度肝胆膵手術に関しては、有井院長の指導のもと安全性を担保に、可能な限り根治術を目指しております。

今後もスタッフ一同、更なる努力を重ねて、1人でも多くの患者様に喜んでいただける診療科として地域医療の貢献に尽くしてまいりますので、よろしくお願いいたします。

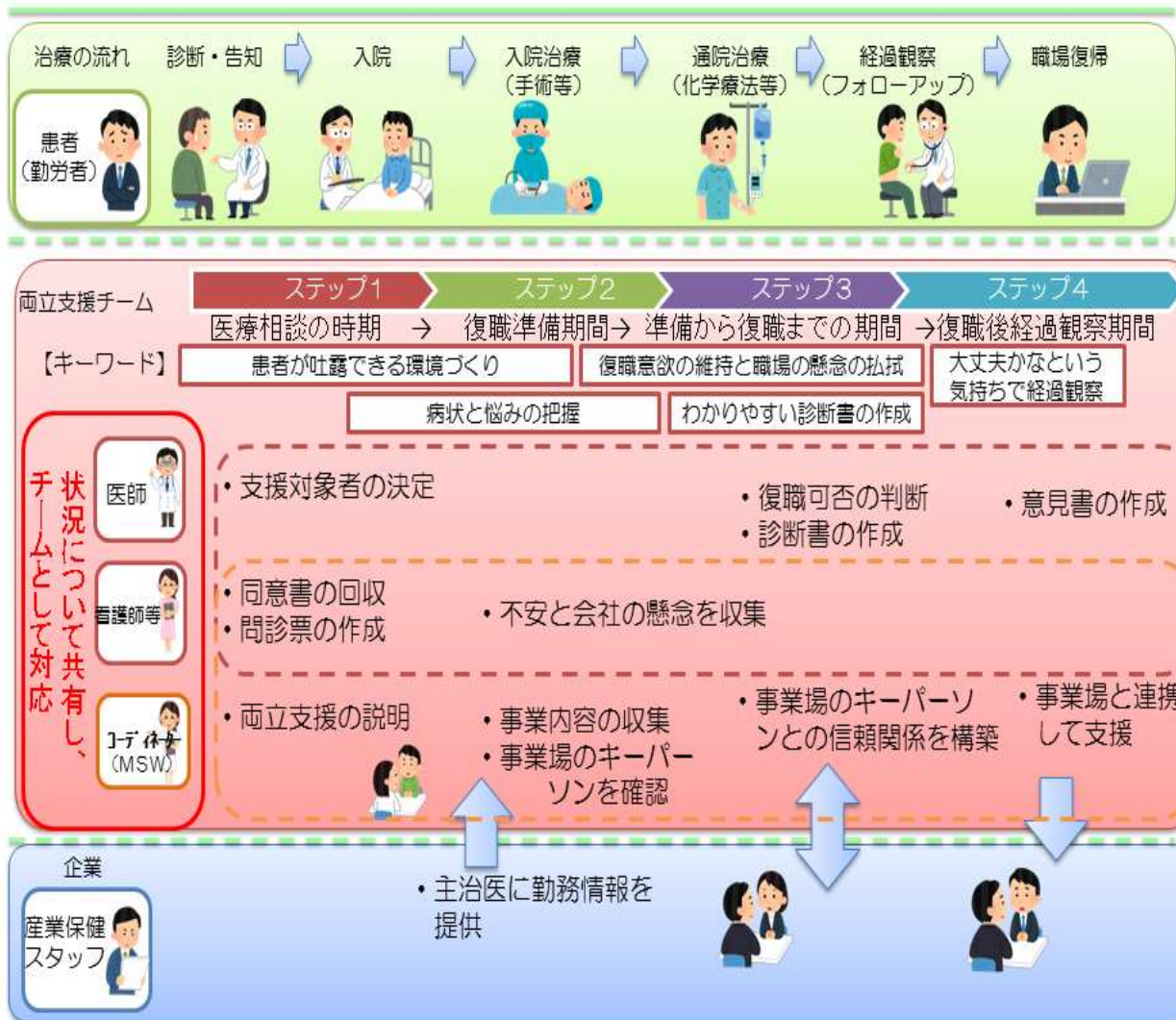


治療就労両立支援の取組について

当院では、平成26年度からモデル事業として、当院で治療中の脳卒中やがん疾患の患者さんに対して、職場復帰（治療就労両立支援）を支援する取組を無料で行っています。

また、平成29年4月から毎週木曜日（8：15～12：15）に新たに職場復帰の相談窓口を開設しました。この窓口は当院で治療中の患者さんのみならず、他院で治療している患者さんおよび他の医療機関や事業所等広く相談を受付けています。詳しくは医療福祉相談窓口（Tel：053-462-1211（内線 3089））までご連絡下さい。

治療と就労の両立支援のイメージ図



第27回浜松EAST医療連携セミナーの開催について

平成29年7月26日（水）に浜松EAST医療連携セミナーを下記のとおり開催いたします。今回は「患者さんに寄り添う痛みの治療－薬物の選択とその意義－」がテーマです。ご多忙中恐縮ではございますが、ご出席いただけますようお願い申し上げます。

記

日 時：平成29年7月26日（水）
19：30～21：00
場 所：浜松労災病院 6階 大会議室



講 師：いわもと痛みのクリニック 院長 岩本竜明 先生
浜松医科大学医学部 麻酔・蘇生学講座 中島芳樹 教授

第15回浜松EAST看護連携連絡会の開催について

平成29年9月15日（金）に浜松EAST看護連携連絡会を下記のとおり開催いたします。今回は「感染予防対策の視点で見直す在宅ケア」がテーマです。ご多忙中恐縮ではございますが、ご出席いただけますようお願い申し上げます。

記

日 時：平成29年9月15日（金）
13：30～15：00
場 所：浜松労災病院 6階 大会議室



対 象：看護従事者、介護職員、介護支援専門員

独立行政法人 労働者健康安全機構
浜松労災病院 地域医療連携室

電話 053-411-0366
fax 053-411-0315

受付時間
月～金 8:15～18:00 土 8:15～12:00